アート・フレンド・アソシエーション全招聘公演記録

	公 演 名	公 演 日	出 演 者	演 目 ・ 内 容	備 考	主な公演地	主 催
1	ドン・コザック合唱団	1956(S31)/3/27～ 1956(S31)/5/9	セルゲー・ジャーロフ（指揮）	略	全 31 公演。東京・神田共立講堂公演は講堂全焼のため宝塚劇場に振替。テレビ・ラジオで中継番組。	東京 3 会場・浜松・宝塚・函館・仙台・宇都宮・松本・郡山・水戸・川崎・四国・九州	毎日新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
2	イーゴリ・ベズロードニー	1957(S32)/3/1～ 1957(S32)/3/6（東京）	イーゴリ・ベズロードニー（バイオリン）、アブラム・マカロフ（ピアノ）		ソ連のバイオリニスト	東京・横浜・静岡・松本・函館・仙台・その他	アート・フレンド・アソシエーション
3	ボリショイ劇場バレー団	1957(S32)/8/28～ 1957(S32)/9/24	オリガ・レペシンスカヤ（プリマ・バレリーナ）、チホミールノワ、ウラジミール・プレオブラジェンスキー、コーレン、ファルマニヤンツ、チモフェーエワ、サンゴービッチ、ラドウンスキー（以上舞踊手）、ロジェストウェンスキー（指揮）、シャシキン団長	チャイコフスキー「白鳥の湖」第 2 幕・アサフィエフ「バフチサライの泉」第 3 幕・歌劇「ファウスト」から「ワルプルギスの夜」・ラフマニノフ「春の水」・クレイン「ローレンシア」のバリエーション・「ドンキホーテ」・グリンカ歌劇「イワン・スサーニン」からポロネーズとクラコビヤク・「シンデレラ姫」抜粋・「くるみ割り人形」・「コッペリア」第 1,2 幕・その他	演奏は東京交響楽団。ソ連文化省次官も同行。	東京（新宿コマ劇場・両国国際スタジアム）・兵庫（宝塚大劇場）	読売新聞社
4	ジャクリーヌ・フランソワ	1958(S33)/1/9～ 1958(S33)/1/15	ジャクリーヌ・フランソワ（シャンソン歌手）、アンリ・デケール（夫・歌手）、ピアノ伴奏者、ギター伴奏者		映画「水色の夜会服」でおなじみの人気歌手。ジュリエット・グレコから変更。	東京（産経ホール）	朝日新聞社？／アート・フレンド・アソシエーション
5	レニングラード・フィルハーモニー交響楽団	1958(S33)/4/21～ 1958(S33)/4/24	ポノマリョフ楽団総裁、ガウク（指揮）	チャイコフスキー「第4交響曲」・「第5交響曲」・「第6交響曲」・幻想序曲「ハムレット」・「フランチェスカ・ダ・リミニ」・ショスタコビッチ「第5交響曲」・プロコフィエフ「第7交響曲」・「チェロ協奏曲」	ジェット旅客機 TU-104A で来日	東京・大阪（国際芸術祭）	朝日新聞社、アート・フレンド・アソシエーション
6	ロストロポーヴィチ	情報を求む					
7	モスクワ国立ボリショイ・サーカス	1958(S33)/6/14～ 1958(S33)/7/20	ボリス・エーデル（団長）			東京（後楽園アイスパレス）・大阪	読売新聞社
8	レオニード・コーガン・バイオリン独奏会	1958(S33)/10/23～ 1958(S33)/11/26	レオニード・コーガン（バイオリン）、アルノリド・カプラン（ピアノ）	ブラームス「第 1 ソナタ」・フランク・プロコフィエフ「第 1 ソナタ」・サラサーテ		東京・横浜・大阪・名古屋・札幌・松本	アート・フレンド・アソシエーション
9	パリ・テアトル・バレー団	1958(S33)/12/21～ 1958(S33)/12/28	ビタリー・フォーキン団長、アンナ・ガリーナ（プリマ）、ニコラス・ポポフスキー、ワルニエ、ピアンコワ、ワレスカ、指揮者、バイオリニスト、ピアニスト	「レ・シルフィード」・「イズラメイ」・「謝肉祭」・「真夏の夜の夢」・「バラの精」・「魔法使いの弟子」など	団長はバレー・リュスの振付者ミハエル・フォーキンの子息。モンテカルロで行った「ミハエル・フォーキン・フェスティバル」の再演。	東京（神田共立講堂）	アート・フレンド・アソシエーション
10	ベニス・アカデミー合唱団	情報を求む					

11	ミルカ・ポコルナ　ピアノ演奏会	1959(S34)/4/3～ 1959(S34)/4/27	ミルカ・ポコルナ（ピアニスト）、ソマル（夫・作曲家）	バッハ「トッカータとフーガ」・ショパン「奏鳴曲変ロ短調」・ヤナチェック「死と予感」・ポリシェック・ソメル「二つのポルカ」など 大衆演奏会：ポリシェック「即興曲」「ラプソディー」・ショパン「ソナタ第 2 番変ロ短調」「二つのマズルカ」「エチュード ロ短調作品 25 の 10」・スメタナ「チェコ舞曲」「ポルカ嬰ヘ長調」「熊」・ソメル「二つのポルカ」・ブラームス「パガニーニの主題による変奏曲」	「現代のリスト」と言われたチェコの新鋭ピアニスト。	東京・札幌・旭川・帯広・函館・長野・富山・金沢・神戸・静岡	アート・フレンド・アソシエーション
12	チェコ国立大サーカス	1959(S34)/7/1～ 1959(S34)/9/17	シュプカ団長、演出：国立映画撮影所のリプスキー監督	読売新聞 1959/5/30 夕刊に詳細なプログラムあり	「ラテルナ・マギカ（魔法の幻灯）」というショーの演出法を採用	東京・福岡・大阪	読売新聞社
13	国立チェコフィルハーモニック交響楽団	1959(S34)/10/18～ 1959(S34)/11/11	イリ・パウエル団長、ヨゼフ・スーク（チェコ第一級のバイオリニスト）、ヤン・バネンカ（ピアニスト）（以上ソリスト）、カレル・アンチェル（常任指揮者）、ラディスラフ・スロパーク（プラチスラパ放送交響楽団主席指揮者）、	第 1 回公演:日本・チェコ両国歌・スメタナ「売られた花嫁」・ドボルザーク交響曲第 5 番「新世界」・ポロコフィエフ「ロメオとジュリエット」第 1 組曲・ムソルグスキー作曲ラベル編曲「展覧会の絵」 サヨナラ公演:シューベルト「未完成」・ベートーベン「英雄」など	初の来日。1959 年 9 月 26 日の伊勢湾台風被災者救援のためラジオ東京テレビで特別演奏し、その出演料 100 万円を寄付。	東京・札幌・仙台・長岡・富山・名古屋・静岡・福岡・広島・大阪	ラジオ東京／毎日新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
14	リタ・シュトライヒ独唱会	1959(S34)/11/14～ 1959(S34)/12/8				東京・札幌・函館・横浜・福岡・長崎	
15	イブ・モンタン(来日中止)	1960(S35)/1/20～ 1960(S35)/2/13	イブ・モンタン、シモーヌ・シニョーレ（夫人・女優）、ポップ・カステラ指揮の 10 人編成の楽団	第 1 部「ともだち」「ルルーの祭り」「ブランコの上のおじょうさん」「愛してる」「ゴッドフレー卿」「四輪馬車」「ルナ・パーク」「コーヒー畠」「ブラン・ブールバール」「パリのフラメンコ」「踊る青年」 第 2 部「つまらないこと」「今日はというように」「ぼくのどこが悪いんだ」「毛皮のマリー」「枯葉」「指揮者は恋している」「ア・パリ」「ジャズ狂」「私の回転木馬」の合計 21 曲	マリリン・モンローと共演の映画「恋をしましょう(Let's Make Love)」の撮影に全米映画ストが重なり、2 度延期されたあと、結局来日中止となった。	東京・大阪・名古屋	読売新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
16	国立アカデミー・ウィーン合唱団	1960(S35)/2/23～ 1960(S35)/3/30	指揮者トーマス・クリスチャン・ダビッド氏 男女各 10 人とソリスト 4 人			東京・松本・富山・大阪・小倉・熊本・福岡・宇部・広島・岡山・大阪・神戸・名古屋・静岡・札幌・福島・長岡	アート・フレンド・アソシエーション
17	フランス・ボーグ１２年展	1960(S35)/3/8～ 1960(S35)/3/13		モード写真＝1948 年～59 年のパリ・モードの推移を示す写真資料 230 点（カラー写真 40 点を含む） デザイン画＝大作を中心に 49 点、いずれもパリ一流デザイナーや画家の肉筆彩色作品		東京	アート・フレンド・アソシエーション

18	ソ連国立レニングラード劇場バレー団	1960(S35)/6/4～ 1960(S35)/6/25	コールキン団長、ドジンスカヤ（プリマ）、セルゲーエフら舞踊手 120 人、オーケストラの首席級奏者 10 人、ソ連文化省代表アレクサンドル・スラブノフ、レニングラード・キーロフ劇場舞台監督ビクトル・エルミーロフ	「白鳥の湖」（10 回上演）・「石の花」（6/13・14・20・21）・「ジゼル」と「シルフィード」（6/8・9・28・29）いずれも全幕上演 バレー・コンサート：第 1 部ドジンスカヤによる「影」（パヤデルカ第 3 幕）第 2 部「バラのワルツ」「狩人と小鳥」「ひん死の白鳥」「ドン・キホーテのグラン・パ・ド・ドゥ」「めくらの少女」などの小品集	チケットは高額の 3500 円（S 席）。3 ヶ月月賦販売を試みた。	東京・大阪	読売新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
19	イベット・ジロー　シャンソンリサイタル	1960(S35)/11/6～ 1960(S35)/12/10	イベット・ジロー、マルク・エラン（ピアノ） 伴奏：寺島尚彦とリズム・シャンソネット	「バラ色の桜んぼと白いリンゴの花」「幸福を売る男」「お願いね」「パパはママが好き」「パリの屋根の下」ほか		東京・郡山・新潟・長岡・青森・盛岡・富山・金沢・京都・大阪・徳島・高知・神戸・広島・小倉・福岡・鹿児島・長崎・名古屋	ラジオ東京／アート・フレンド・アソシエーション
20	アート・ブレーキーとジャズ・メッセンジャーズ 情報を求む	1961(S36)/1/2～ 1961(S36)/1/15	アート・ブレイキー（ドラム）、リー・モーガン（トランペット）、ウエイン・ショーター（テナー・サックス）、ボビー・ティモンズ（ピアノ）、ジミー・メリット（ベース）、歌手ビル・ヘンダーソン	「チュニジアの夜」「ジャスティス」「モーニン」などバンド・レパートリーが 20 曲、歌手ヘンダーソンの曲目が 7 曲の予定		東京・大阪	東京放送／アート・フレンド・アソシエーション
21	ニコロとナポリ・クィンテット	1961(S36)/2/9～ 1961(S36)/3/26	ペレラ・ニコロ（歌手）、デシモネ・エンゾ（歌手）、チアレッタ・アルマンド（バイオリン）、バガーノ・エンリコ（ギター）、プレシオソ・フェルディナンド（マンドリン） 司会：いソノ・てルヲ	「帰れソレントへ」「オー・ソレ・ミオ」「サンタ・ルチア」「フニクリ・フニクラ」「マルキャーレ」「アイ・アイ・アイ」「マリア・マリ」「いとしのわが君」「嘆きのセレナーデ」「アモーレ」「コメ・プリマ」「チャオ・チャオ・バンビーナ」「ポラーレ」「黒いオルフェ」「月のセニョリータ」「ジェルソミーナ」「マリーナ」「カリーナ」「アンナ」「村の娘」「チリビリビン」「トゼルリのセレナータ」「ナポリの月」「プリア」「まごころ」「悲しみよさようなら」「パパはママが好き」		東京・川崎・福岡・佐世保・長崎・大牟田・熊本・延岡・八幡・大阪・鹿児島・宇部・岡山・高松・広島・京都・富山・金沢・名古屋	読売新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
22	モスクワ国立ボリショイ・サーカス	1961(S36)/7/1～ 1961(S36)/8/6（東京）	トカチェンコ団長、人民芸術家キオ（キオの大魔法）、クマのゴーシャ、その調教師クドリヤッエフ、功労芸術家ミラーエフ（恐怖の人間タワー）、功労芸術家ネムチンスカヤ（空中バレー）、道化師セレダと道化犬チージック、オリホビコワ夫人（犬のフットボール）	「キオの大魔法」「犬のフットボール試合」「コサック馬術」「ツナの上のウラノワ」「空中竹馬とび」「恐怖の人間タワー」など	横浜港から都内まで豪華パレードを行った。	東京、福岡、大阪、名古屋、札幌	毎日新聞社／東京放送／アート・フレンド・アソシエーション
23	ピカソ展	1961(S36)/10/23?～ 1961(S36)/10/29		版画 304 点。1930～60 の作品。		東京（日本橋白木屋）	アート・フレンド・アソシエーション

24	クリス・コナーとホーレス・シルバー・クインテット	1962(S37)/1/2～ 1962(S37)/1/16	シンガー：クリス・コナー、ピアニスト：ホーレス・シルバー、ベース：ジーン・テイラー、ドラムス：ロイ・ブルックス、他		前年のアートブレーキーに続いて、正月のモダン・ジャズ公演。	東京・名古屋・大阪・神戸・京都	読売新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
25	アメリカン大西部サーカス	1962(S37)/7/21～ 1962(S37)/10/14	ケーシー・ティブス団長、早射ち 2 挺拳銃リード・マーク、スー族の酋長役エディ・リトル・スカイ、荒業師ジャック・コナーズ、など メキシコのマリアッチ楽団（8 人編成）、ウエスタン・バンド（8 人編成）も同行	第 1 部：「西部の決闘」インディアンと白人の戦い、保安官の登場、カウボーイの投げなわ馬泥棒に対する制裁、乗馬飛脚、第七騎兵隊の虐殺、バッファロー・ビルと酋長イエロー・ハントとの決闘 第 2 部：「メキシコ闘牛」 第 3 部：「ロデオ」ハダカ荒馬乗り・牛倒し・小牛投げなわしばり・クラつきはね馬乗り・ハダカ野牛乗り ＜森永ガム告知による＞ 第 1 部：大パレード・インデアンの駅馬車襲撃・弓の名人登場・早射ち 2 挺拳銃・生きている投げなわ・騎兵隊とインデアンの決斗・マリアッチ音楽とダンス・メキシコ斗牛 第 2 部：ロデオ・ハダカ馬乗り・小牛投げなわ捕り・荒馬クラつけ競争・二人組猛牛捕り・クラつき荒馬乗り・野牛乗り	森永ガム愛用者 6,000 名を招待。	東京・名古屋・福岡・大阪	読売新聞社／報知新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
26	ピカソ・ゲルニカ展	情報を求む					
27	アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズ	1963(S38)/1/2～ 1963(S38)/1/26	テナー・サックス：ウェイン・ショーター、歌手：ジョニー・ハートマン			東京（サンケイホール）	毎日新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
28	佐藤陽子バイオリンコンサート	情報を求む 佐藤陽子は、このときおそらく 12 歳。8 歳のとき、来日中のレオニード・コーガンに見いだされてソ連に留学中。前年 4 月にモスクワで初のリサイタルを行っていた。					
29	国立北京曲技団	1963(S38)/2/1～ 1963(S38)/4/28		武術（アクロバット）、流星つな回し、イスのピラミッドなどを順次選んで上演 初日の演目：武術、奇術、サラ回し、大力士、桶くぐり、魔術など		東京・大阪・神戸・広島・鹿児島・大分・小倉・姫路・岡山・徳島・名古屋・富山・札幌・青森・新潟	毎日新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
30	国立モスクワ合唱団	情報を求む					
31	ソ連国立ボリショイ・サーカス	1963(S38)/7/16～ 1963(S38)/8/18		ジキト、怪力オートバイ、空中大跳躍、ヒマラヤグマのミーチャ君、ハトの詩曲、恐怖の棒わざ、大回転急降下、つなわたり、宇宙バレー、犬のサーカス、など		東京	
32	永楽宮壁画展	1963(S38)/8/30～ 1963(S38)/9/18		現存する四つの殿堂の壁画のうち代表的な完全保存模写 37 幅、101 点	永楽宮は 1952 年、中国・山西省でダム工事中に発掘された道教寺院。	東京（日本橋白木屋）	アート・フレンド・アソシエーション／読売新聞社

33	ソニー・ロリンズ	1963(S38)/9/20～ 1963(S38)/10/10 （東京）	テナー・サックス：ソニー・ロリンズ、ベース：ヘンリー・グライムス、ドラム：ロイ・マッカディ、ピアノ：ポール・プレイ、女性歌手：ベティ・カーター（レイ・チャールズと共演していることで有名） トランペット：ルシッド・アリ（前ぶれなしに参加・初日は出てない？）	（初日 9/20） カルテットで“五十二番街のテーマ”など4曲、ベティ・カーターの唄をまじえて“マイ・フェイバリット・シングス”など5曲 （9/23 付評論） クインテットで“五十二番街のテーマ”“いい出しかねて”“オレオ”など5曲	カルテットの予定が、急遽トランペットを加えたクインテットになったらしい。来日中に日活映画「黒い太陽」（監督：蔵原惟繕）のためにロリンズが演奏（音楽は黛敏郎）。	東京・静岡・大阪・横浜・名古屋・徳島・神戸・大阪・栃木	毎日新聞社／アート・フレンド・アソシエーション
34	シャガール展	1963(S38)/10/1～ 1963(S38)/12/10		1907 年ごろから現在にいたる 451 点。油絵、不透明水彩、テンペラ、銅版画、ステンドグラス、ブロンズ彫刻	シャガール夫妻と娘イダが来日。	東京（国立西洋美術館／日本橋白木屋）・京都市美術館	国立西洋美術館／読売新聞社
35	中国京劇	情報を求む					
36	インド大魔法団	1964(S39)/2/7～ 1964(S39)/3/1	ソーカー	第1、第2部に分けて33のナンバー		東京（サンケイホール／神田共立講堂）	アート・フレンド・アソシエーション